



複合抵抗性水稻品種「ゆめまつり」のトビイロウンカ密度抑制

水稻複合抵抗性品種「ゆめまつり」は、害虫ではセジロウンカとツマグロヨコバイに抵抗性があり、病害ではいもち病に圃場抵抗性があります。プロジェクト研究によって、トビイロウンカの密度抑制も期待できることが明らかになりました。

- ◆トビイロウンカは梅雨期に中国から飛来するイネ害虫
- ◆飛来後2世代から3世代を経て増殖し、密度が高くなるとイネは枯死
- ◆収穫前に坪枯れや半枯れが発生



坪枯れ

半枯れ

トビイロウンカの被害

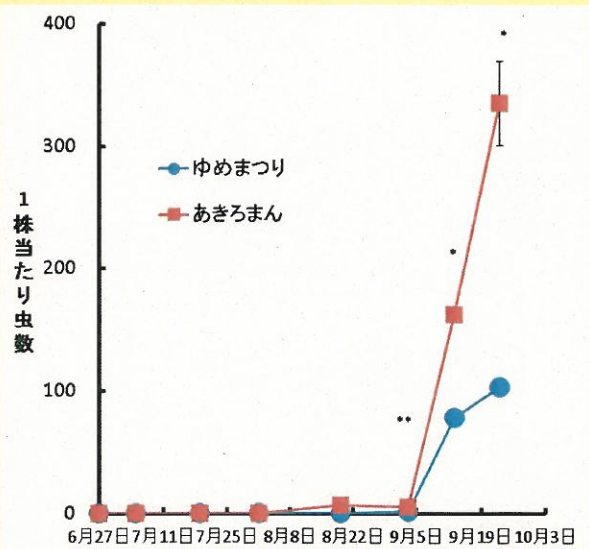
トビイロウンカは中国で薬剤抵抗性を獲得しているため、殺虫剤のみでの防除は困難

総合的害虫管理(IPM)が必要

「ゆめまつり」のトビイロウンカ虫数は「あきろまん」と比較して3割以下に抑制

「ゆめまつり」は、トビイロウンカ密度抑制に期待できるため、イネウンカ類に対する育苗箱施用殺虫剤を削減

減農薬が可能



「ゆめまつり」と「あきろまん」のトビイロウンカ密度(2013年)

本研究は農林水産省委託プロジェクト研究「生物多様性を活用した安定的農業生産技術の開発」を活用して行っています。